

佐賀県 アジア戦略と新エネ利用

幕末・維新期の佐賀のように、新しい時代のリーダーとして国内外から必要とされる存在のある県でありたいという気概を込めて、県総合計画の基本理念を「新しき世に佐賀あり」とした。

新しき世を見据え、成長著しい東アジア地域の活力を取り込まずに県の成長はないと考え、昨年、佐賀県初となる海外事務所を中国・瀋陽と香港に、「上海デスク」を県庁内にオープンした。

さらに有明佐賀空港の上海路線開設を契機として、多くの外国人観光客が立ち寄る魅力ある場所となるよう、受入環境の整備に努めている。

また新しい時代にふさわしい再生可能エネルギーの利用を進めたいと考えている。佐賀県がトランポナーである住宅用太陽光発電のほか、事業用太陽光発電やメガソーラーの普及にも積極的に取り組む。太陽光王国佐賀の実現を目指す。

新しき世に県内企業や県産品が生き残っていくために、グローバル経済が進展する中、地域の競争力を強化し将来にわたって県民のくらしを支える産業の育成・振興を図りたい。



古川 康知事

長崎県 客船関連技能・技術者の育成

長崎県では、雇用や所得向上に繋がる力強い地域経済を実現するため、地域企業の競争力強化をはじめとして様々な施策に取り組んでいる。

例えば昨年、三菱重工業長崎造船所(長崎市)において大型客船建造を受注した。今回の大型客船建造のインパクトは非常に大きいものがある。

地域企業や地域経済にその効果を最大限波及させるため、企業の技術力を高め、受注機会の拡大に結び付けていくための総合的な人材育成施策を推進している。

具体的には、地元造船技術に関連した企業に対し、空調や給・排水などの配管・電気技術者研修や高度溶接技術者研修を実施する。更に、熟練技術者を派遣しての企業内実地研修や、資格取得の支援を行っている。

また、シミュレーション物流の構築など、長崎港の物流機能の強化を図っていく考えだ。

これらの施策を着実に実施し、長崎県の基幹産業である造船業をはじめ、地域産業の活性化に繋げていく。



中村 法道 知事

熊本県 アジアとの経済交流拡大

熊本県の今年の目標として次の四つを掲げている。昨年の九州新幹線全線開業に続く、4月の熊本市の政令市移行というビッグチャンスを生かして、熊本の1000年の発展の礎を築くこと。アジアの活力を熊本に呼び込むこと。そして熊本を日本で最も幸福を感じられる県にすること。

中でも急成長するアジアの活力を熊本に取り込むため、阿蘇くまもと空港の国際線強化や、海外販路の拡大に取り組む事業者への支援を行う。

またアジアからの観光客誘致を拡大させるため、現地の旅行社とのタイアップによる旅行商品づくりや、クルーズ船ツアーなどの新たな誘客対策を展開する。このほか、中国広西壮族自治区との友好提携30周年を記念した事業にも取り組むこととしている。

今年1月には中国・上海市に、熊本市、熊本大学と共同で運営する熊本上海事務所を開設した。三者が連携しながら、中国をはじめとしたアジアとの経済交流の拡大に取り組んでいく。



蒲島 郁夫 知事

鹿児島県 高付加価値型農業の展開

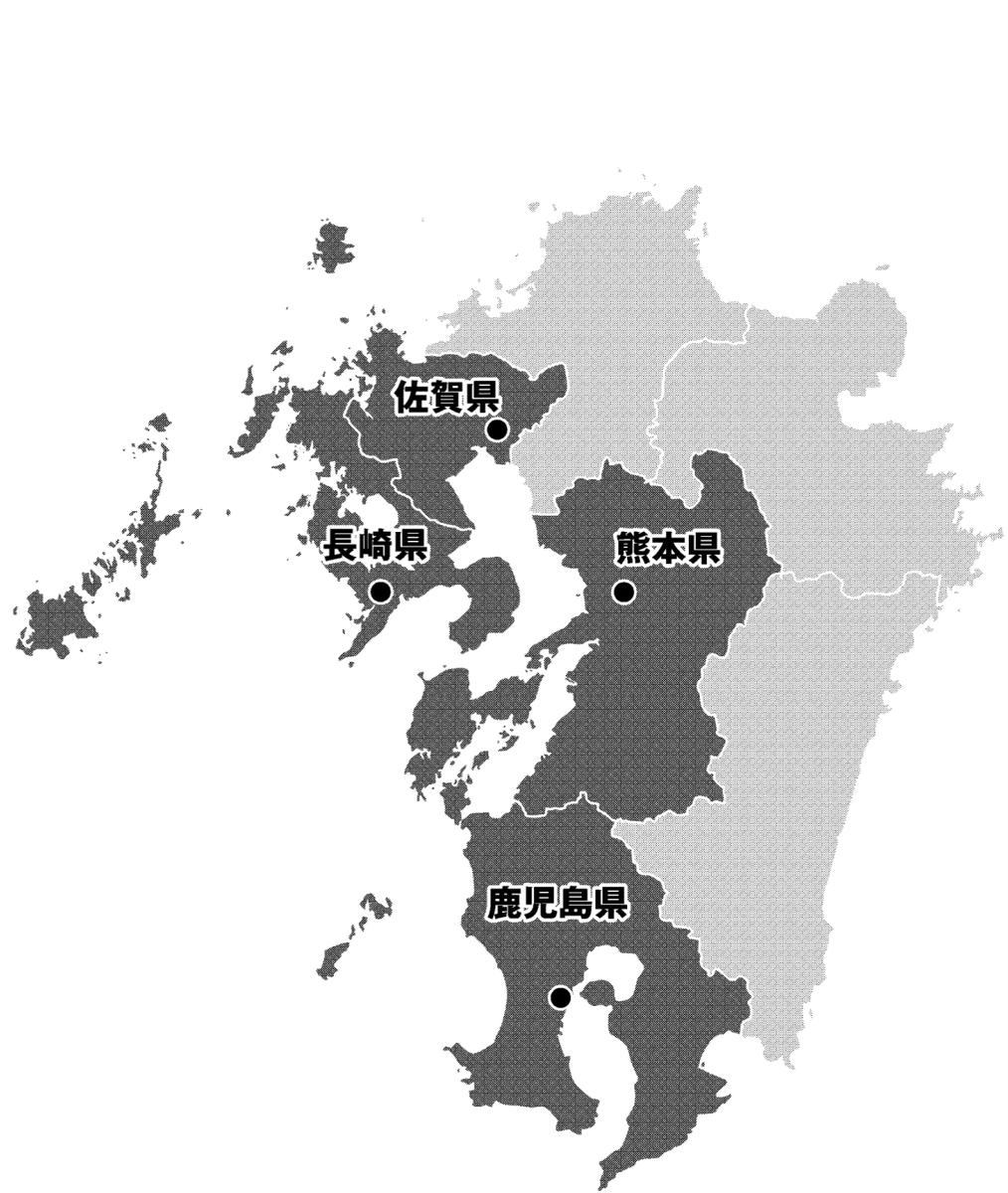
大隅地域は大規模畑作産地が創出されている。経済発展を続けるアジア地域の大きな動きや日本国内の食を巡る動きなどの中、新食料供給基地としての大隅の可能性を実現する。そのため素材提供型から一次加工などにより価格支配力を高めた高付加価値型農業など、戦略性の高い農業への展開が必要である。

昨年、全国レベルの専門家などからなる検討委員会を設置、大隅地域の活性化に必要な加工技術支援拠点のあり方についての提言をいただいた。

本県農業を巡る環境が急速に変化していることから、最新の加工機器を複数組み合わせた最新トランポナーなどを設置する。また加工業者などが自ら行う加工品の試作・研究・開発を支援するとともに、スーパーなどの消費者と加工業者等との商談の支援などを行う加工技術支援拠点を整備する。2012年度は基本計画を策定し14年度にオープンできるような整備を進めたい。このプロジェクトを推進することが関連企業の立地、加工業への新規参入など地域経済発展につながることを期待する。



伊藤 祐一郎 知事



九州経済

ジェイアール九州メンテナンス株式会社

ビルメンテナンス業務
ハウスクリーニング業務
鉄道関連業務
介護付有料老人ホーム(SJR別院)の運営

■北九州本社
〒801-0833 北九州門司区清滝2丁目3番8号
TEL 093-321-1331(代) FAX 093-321-1333

■福岡本社
〒812-0012 福岡市博多区新宮町5丁目1番13号C1,3F
TEL 092-474-2690(代) FAX 092-451-0785

燃焼しにくい画期的なマグネシウム合金製品を扱う非鉄金属のパイオニア

■主要製品
銅製ステーククーラー・純銅羽口・冷却盤・ランスノズル・チタン電極

■新製品
難燃性マグネシウム合金ピレット

株式会社 戸畑製作所
代表取締役社長 松本和朗
北九州小倉南区新宮町8番21号
TEL (093) 471-7789

「環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける」

「雑草アタック」は、セメントや化学的な薬剤を一切使用せず、土に還る自然素材だけで当社が開発した環境型自然土防草材です。

日本乾溜工業株式会社
〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目11番11号
TEL 092-632-1050(代表) FAX 092-632-1082
事業所/福岡・北九州・久留米・佐賀・長崎
熊本・鹿児島・宮崎・大分・木更津
工場/北九州(黒崎)

ニーズに応じて広がるレアメタルの未来形。

日本タングステンは、粉末冶金をコア技術にレアメタルを様々な用途に展開しています。また、セラミックス新材料などにおいても、粉末冶金の高度な技術が生かされています。これからも、時代のニーズに応えながら新しい用途を持つ新材料を創り、未来に向け挑戦します。

金属材料
高い融点を持つタングステンは、電気特性にも優れ、当社はハロゲンランプ用タングステンワイヤーメーカーとして高い評価をいただいています。

超硬合金材料
金属の強靭さとセラミックスの耐摩耗性を併せ持ち、衛生用品をはじめ、エネルギー分野など様々な用途でご利用いただいています。

電気・電子材料
電気伝導性に優れた銀や銅に、耐熱性の優れたタングステンを組み合わせ、幅広い材料をご提供します。

セラミックス材料
硬くて熱に強く、軽いセラミックス材料の特性を活かし、デジタル家電や半導体などの先端分野でご利用いただいています。

次世代マテリアルのパイオニア。未来への跳躍。

日本タングステン株式会社
〒812-8538 福岡市博多区美野島一丁目2番8号 TEL 092-415-5500 FAX 092-415-5511 http://www.nittan.co.jp/
支店/東京・名古屋・大阪・九州 サテライト/東海・北陸・福山 工場/基山・宇美・飯塚

ULTRA-PRECISION & MECHATROMATION Seibu
超精密とメカトロメーションを追求する

立体自動倉庫/RIOシステム 搬送機械 MATERIAL HANDLING
インテリジェントバルブアクチュエータ/Semflex®Aシリーズ 産業機械 ELECTRIC ACTUATOR

「超精密」と「メカトロメーション」それが私達のテーマです

高精密自由形状研削加工機/SFG-28 工作機械 PRECISION LATHE
超精密ワイヤ放電加工機/SuperMM50A 放電機械 ELECTRIC DISCHARGE MACHINE

西部電機株式会社
代表取締役社長 木村 靄

本社・工場：〒811-3193 福岡県古賀市東三丁目3番1号
TEL (092)941-1500 FAX (092)941-1511
東京支店：TEL (03)5628-0011 大阪支店：TEL (06)4796-6711
名古屋営業所：TEL (052)800-5051 札幌出張所：TEL (011)221-0521
広島営業所：TEL (082)502-1651
ホームページアドレス http://www.seibudenki.co.jp